

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ueda M, Ando Y, Hakamata Y, Nakamura M, Yamashita T, Obayashi K, Himeno S, Inoue S, Sato Y, Kaneko T, Takamune N, Misumi S, Shoji S, Uchino M, Kobayashi E	A transgenic rat with the human ATTR V30M: A novel tool for analyses of ATTR metabolisms.	Biochem Biophys Res Commun	352	299-304	2007
Sato T, Susuki S, Suico MA, Miyata M, Ando Y, Mizuguchi M, Takeuchi M, Dobashi M, Shuto T, Kai H	Endoplasmic reticulum quality control regulates the fate of transthyretin variants in the cell.	EMBO J	26	2501-2512	2007
Koide-Yoshida S, Niki T, Ueda M, Himeno S, Taira T, Iguchi-Ariga SM, Ando Y, Ariga H	DJ-1 degrades transthyretin and an inactive form of DJ-1 is secreted in familial amyloidotic polyneuropathy.	Int J Mol Med	19	885-893	2007
Bergström J, Patrosso MC, Colussi G, Salvatore M, Penco S, Lando G, Marocchi A, Ueda A, Nakamura M, Ando Y	A novel type of familial transthyretin amyloidosis, ATTR Asn124Ser, with co-localization of κ light chains.	Amyloid	14	141-145	2007
Inomata Y, Zeledon ME, Asonuma K, Okajima H, Takeichi T, Ishiko T, Ando Y	Whole-Liver Graft Without the Retrohepatic Inferior Vena Cava for Sequential (Domino) Living Donor Liver Transplantation.	Am J Transplant	7	1629-1632	2007
Goto S, Seo T, Hagiwara T, Ueda K, Yamauchi T, Nagata S, Ando Y, Ishitsu T, Nakagawa K	Potential relationships between transaminase abnormality and valproic acid clearance or serum carnitine concentrations in Japanese epileptic patients.	J Pharm Pharmacol			In press
Yamashita T, Ando Y, Ueda M, Nakamura M, Okamoto S, Zeledon ME, Hirahara T, Hirai T, Ueda A, Misumi Y, Obayashi K, Inomata H, Uchino M	Effect of liver transplantation on transthyretin Tyr114Cys-related cerebral amyloid angiopathy.	Neurology	70	123-128	2008
Ando Y, Ueda M	Novel methods for detecting amyloidogenic proteins in transthyretin related amyloidosis.	Frontiers in Bioscience			In press

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
大林光念、安東由喜雄	家族性アミロイドーシスの病態と治療	腎と透析	62	226-230	2007
植田光晴、安東由喜雄	遺伝子検査の実際、2) 神経・筋疾患	臨床検査	51	1401-1414	2007
終中智恵子、安東由喜雄	家族性アミロイドポリニューロパチー診療における看護師の役割と課題	日本遺伝看護学会誌	5	33-42	2007
安東由喜雄	トランスサイレチン —そのミラクルな作用	臨床化学	37	80-81	2008
安東由喜雄、城野博史	トランスサイレチン型アミロイドーシスの病態解析と治療	臨床病理			In press
Kudo Y, Okamura N, Furumoto S, Tashiro M, Furukawa K, Maruyama M, Itoh M, Iwata R, Yanai K, Arai H	2-(2-[2-Dimethylaminothiazol-5-yl] ethenyl) -6-(2- [fluoro]ethoxy) benzoxazole: A novel PET agent for in vivo detection of dense amyloid plaques in Alzheimer's disease patients.	J Nucl Med	48	553-561	2007
Furumoto S, Okamura N, Iwata R, Yanai K, Arai H, Kudo Y	Recent advances in the development of amyloid imaging agents.	Current Topics in Medicinal Chemistry	7	1773-1789	2007
Okamura N, Furumoto S, Funaki Y, Suemoto T, Kato M, Ishikawa Y, Ito S, Akatsu H, Yamamoto T, Sawada S, Arai H, Kudo Y, Yanai K	Binding and safety profile of novel benzoxazole derivative for in vivo imaging of amyloid deposits in Alzheimer's disease.	Japan Geriatrics Society	7	393-400	2007
工藤幸司、古本祥三、岡村信行	アミロイドイメージング 「アミロイド画像化用プローブ」	日本臨床	66 Suppl 1	300-306	2008
岡村信行、谷内一彦、古川勝敏、荒井啓行、工藤幸司	アミロイドイメージング 「PET」	日本臨床	66 Suppl 1	288-292	2008
岡村信行、古本祥三、工藤幸司、谷内一彦	脳の分子イメージング「アルツハイマー病」	日本臨床	65	320-326	2007
岡村信行、谷内一彦、工藤幸司	アミロイドイメージングの進歩	Dementia Japan	20	216-225	2007

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
荒井啓行、工藤幸司	病理像を画像化する分子神経イメージング法による Alzheimer 病の早期診断 -日本での BF-227 の開発と臨床応用	医学のあゆみ	220	404-408	2007
Yokota T, Iijima S, Kubodera T, Ishii K, Katakai Y, Ageyama N, Chen YW, Lee YJ, Unno T, Nishina K, Iwasaki Y, Maki N, Mizusawa H, Akari	Efficient regulation of viral replication by siRNA in a non-human primate surrogate model for hepatitis C.	BBRC	361	294-300	2007
Saiki O, Takao R, Nause Y, Kuhara M, Imai S	Infliximab but not methotrexate induces extra-high levels of VLDL-TG in patients with rheumatoid arthritis.	J Rheumatology	34	1997-2004	2007
Kitahama M, Koseki Y, Sakurai T, Kamatani N, Terai C	Female is a risk factor for developing AA-amyloidosis in patients with Rheumatoid Arthritis.	Arthritis Rheum	56	S410-411	2007
Yamanaka H, Inoue E, Tanaka E, Nakajima A, Taniguchi A, Terai C, Hara M, Tomatsu T, Kamatani N	Influence of methotrexate dose on its efficacy and safety in rheumatoid arthritis patients: evidence based on the variety of prescribing approaches among practicing Japanese rheumatologists in a single institute-based large observational cohort (IORRA).	Mod Rheumatol	14	98-105	2007
Okamoto H, Kaneko H, Terai C, Kamatani N	Protective effect of A at position - 168 in the type III promoter of the MHCIIA gene in systemic lupus erythematosus.	Ann Rheum Dis	66	1263-1264	2007
寺井千尋	関節リウマチ治療の新展開	東京内科医会会誌	22	175-177	2007
寺井千尋	関節リウマチの腎障害	骨・関節・靭帯	20	1047-1053	2007
斎藤真由子、林 敏昭、野島正寛、池田 博、多羅澤功、安井 寛、石田禎夫、安達正晃、今井浩三、篠村恭久	自家末梢血幹細胞移植後長期生存が得られた心不全合併原発性ALアミロイドーシス	臨床血液	48	1478-1483	2007

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Ono K, Noguchi-Shino hara M, Samuraki M, Matsumoto Y, Yanase D, Iwasa K, Naiki H, Yamada M	Cerebrospinal fluid and plasma of Alzheimer patients promote b-amyloid fibril formation in vitro.	Skinner M, Berk JL, Connors LH, Seldin DC, ed	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC press	Boca Raton	2007	25-26
石田千穂、 山田正仁	脳アミロイド・アン ギオパチー	田中耕太郎、 高嶋修太郎	必携 脳卒中 ハンドブック	診断と治療 社	東京		印刷中
小野賢二郎、 山田正仁	認知症(アルツハイ マー病、血管性認知 症)	奈良信雄	疾患からまと めた病態生理 FIRST AID	メディカ ル・サイエ ンス・イン ターナショ ナル社	東京	2007	503-505
山田正仁	原発性(AL)アミ ロイドーシスに伴 うニューロパチー をどう治療するか	岡本幸市、 棚橋紀夫、 水澤英洋	EBM 神経疾患 の治療 2007-2008	中外医学社	東京	2007	360-364
山田正仁	大脳変性疾患： Alzheimer 病、前頭 側頭型認知症、大脳 皮質基底核変性症	杉本恒明、 矢崎義雄	内科学 第9版	朝倉書店	東京	2007	1782-1788
山田正仁	脳アミロイドアン ギオパチーの危険 因子の探索および 脳アミロイド沈着 症に対する予防・治 療薬の開発	坂口正道 他	精神医学の方 位 松下正明 先生古稀記念 論文集	中山書店	東京	2007	182-185
山本 卓、 下条文武	透析アミロイドー シス	飯田喜俊、 秋葉 隆	透析療法パー フェクトガイ ド	医歯薬出版	東京	2007	181-182
新谷茂樹、 西 慎一、 下条文武	透析アミロイド症	越川昭三、 秋澤忠男	症例に学ぶ透 析療法	中外医学社	東京	2007	199-204
山本 卓、 下条文武	透析アミロイドー シスの治療法は？	深川雅史、 秋澤忠男	EBM 透析療法 2008-2009	中外医学社	東京	2007	363-366

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
近藤大介、 下条文武	アミロイド腎症	五十嵐隆、 鈴木洋通、 丸茂 建	日本医師会雑誌 136 (特別号 2) 腎・泌尿器疾患診療マニュアル-小児から成人まで	日本医師会	東京	2007	210-211
Fu X, Korenaga T, Yan J, Ge F, Zhan B, Qian J, Naiki H, Sawashita J, Mori M, Higuchi K	Mouse senile amyloidosis: possible horizontal transmission in the mouse room.	Skinner M, Berk JL, Connors LH, Seldin DC	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	Boca Raton, FL USA	2007	10-12
Higuchi K, Ge F, Fu X, Yao J, Zhan B, Zhan H, Qian J, Sawashita J, Mori M	Amyloidosis in the transgenic mice of mouse amyloidgenic apolipoprotein A-II (<i>Apoa2C</i>).	Skinner M, Berk JL, Connors LH, Seldin DC	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	Boca Raton, FL USA	2007	143-145
Higuchi K, Fu X, Korenaga T, Sawashita J, Mori M.	Genetics and transmission of mouse systemic amyloidosis.	P.L. San Biagio and D. Bulone	Biophysical Inquiry into Protein Aggregation and Amyloid Diseases	Research SignPost	Kerala, India	2008	In press
樋口京一、 池田修一	全身性アミロイドーシスの伝播	水澤英洋	プリオン病と遅発性ウイルス感染症	金原出版	東京	2008	印刷中
樋口京一	アミロイドモデル動物実験ガイド	日本基礎老化学会	老化・老年病研究のための動物実験ガイド	アドスリー	東京	2008	印刷中
玉岡 晃	脳脊髄への転移	東原正明	癌緩和ケアー必携 ベッドサイドで役立つ癌緩和ケアマニュアル	新興医学出版社	東京	2008	58-60
玉岡 晃	認知症に対する治療はどうすべきか	水澤英洋、 棚橋紀夫、 岡本幸市	EBM 神経疾患の治療 2007-2008	中外医学社	東京	2007	228-235

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
織田彰子、 玉岡 晃	筋けいれん痛	東原正明	癌緩和ケアー 必携 ベッド サイドで役立つ癌緩和ケア マニュアル	新興医学出版 社	東京	2008	61-62
織田彰子、 玉岡 晃	神経障害性疼痛	東原正明	癌緩和ケアー 必携 ベッド サイドで役立つ癌緩和ケア マニュアル	新興医学出版 社	東京	2008	63-64
玉岡 晃	検体検査（血液検査、 髄液検査）	黒岩義之・ 宗村美江子	新体系看護学 全書19成人 看護学⑥脳・ 神経	メヂカルフ レンド社	東京	2007	81-86
玉岡 晃	一般内科疾患に伴う 神経・筋障害	黒岩義之・ 宗村美江子	新体系看護学 全書19成人 看護学⑥脳・ 神経	メヂカルフ レンド社	東京	2007	220-226
玉岡 晃	神経系の先天奇形・ 形成障害	黒岩義之・ 宗村美江子	新体系看護学 全書19成人 看護学⑥脳・ 神経	メヂカルフ レンド社	東京	2007	226-228
玉岡 晃	アポEと Alzheimer 病- ア ポ E の分子病態と 疾患発症機構	岩坪 威	別冊・医学の あゆみ Alzheimer 病- 基礎・臨床研 究の最新動 向、	医歯薬出版 株式会社	東京	2007	93-100
山田俊幸	血清アミロイド A (SAA)	和田 攻、 大久保昭行、 矢崎義雄、 大内尉義	臨床検査ガイ ド 2007~2008	文光堂	東京	2007	174-175
前田秀一郎	遺伝性アミロイド ーシス	一瀬白帝、 鈴木宏治	図説分子病態 学 4 版	中外医学社	東京	2008	印刷中
内木宏延、 大越忠和	アミロイドーシス (翻訳分担)	鈴木利光、 中村栄男、 深山正久、 山川光徳、 吉野 正	ルービン病理 学—臨床医学 への基盤—	西村書店	東京	2007	1019-10 31

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
今井裕一、 山田晴生	巣状分節性糸球体 硬化症	日野原重明、 井村裕夫	看護のための 最新医学講座 [第2版]6 腎 疾患と高血圧	中山書店	東京	2007	209-215
今井裕一	膠原病・血管炎の腎 障害： (1) 全身 性エリテマトーデ ス (ループス腎炎)	杉本恒明、 矢崎義雄	内科学 第九版	朝倉書店	東京	2007	1226-1229
今井裕一	血液疾患と腎障害	杉本恒明、 矢崎義雄	内科学 第九版	朝倉書店	東京	2007	1237-1238
今井裕一	溶血性尿毒症症候 群	杉本恒明、 矢崎義雄	内科学 第九版	朝倉書店	東京	2007	1238-1239
今井裕一	Goodpasture 症候群	杉本恒明、 矢崎義雄	内科学 第九版	朝倉書店	東京	2007	1240-1241
葛原茂樹	脳・神経の解剖	葛原茂樹	精神・神経疾 患画像アトラ ス	メディカル レビュー社	大阪	2007	10-22
葛原茂樹	精神・神経疾患画像 アトラス (監修)	葛原茂樹	精神・神経疾 患画像アトラ ス	メディカル レビュー社	大阪	2007	全167ペ ージ
葛原茂樹	Huntington 病	大田 健、 奈良信雄	今日の診断基 準	南江堂	東京	2007	563
島崎千尋	多発性骨髄腫にお ける自家末梢血幹 細胞移植	日本臨牀編 集委員会	造血器腫瘍— 基礎・臨床領 域における最 新の研究動向	日本臨牀社	大阪	2007	642-645
稲葉 亨、 藤田直久、 島崎千尋	多発性骨髄腫の診 断と鑑別診断、分子 マーカー	日本臨牀編 集委員会	造血器腫瘍— 基礎・臨床領 域における最 新の研究動向	日本臨牀社	大阪	2007	356-360
島崎千尋	多発性骨髄腫	山口 徹、 北原光夫、 福井次矢	今日の治療指 針 2007 年度 版	医学書院	東京	2007	484-485

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
島崎千尋、村上博和、高木敏之	日本における多発性骨髄腫治療の現状	日本骨髄腫研究会	骨髄腫 annual report 2006	ライトハウス(株)	名古屋	2007	12-14
島崎千尋	多発性骨髄腫。治療可能な治療法はあるのか？	押味和夫、別所正美、岡本真一郎、加藤 淳	E B M 血液疾患の治療 2008-2009	中外医学社	東京	2007	458-462
島崎千尋	疾患別移植の適応ガイドライン 多発性骨髄腫	血液・腫瘍科編集委員会	造血幹細胞移植のすべて	科学評論社	東京	2007	446-452
吉崎和幸	キャッスルマン病	西本憲弘、平野俊夫	IL-6 Bench to Bedside	メディカルレビュー	大阪	2007	25-37
東海林幹夫	アミロイドニューロパチー	山口 徹、北原光夫、福井次矢	今日の治療指針 2007 年度版	医学書院	東京	2007	651-652
東海林幹夫	III.臨床編 1. アルツハイマー病の診断. 1) 診断基準	平井俊作	日本臨床増刊「アルツハイマー病」	日本臨床社	大阪	2008	213-219
東海林幹夫	III.臨床編 1.アルツハイマー病の診断. 3)生物学的マーカー検査. B 脳脊髄液 b)Aβ	平井俊作	日本臨床増刊「アルツハイマー病」	日本臨床社	大阪	2008	241-246
東海林幹夫	総論 4 章 認知症の検査, 評価尺度, 3. 血液・脳脊髄液検査;各論 アルツハイマー病 5. 診断と臨床経過, 6. 検査, 7. 診断, 8. 治療)		認知症テキストブック	中外医学社	東京		印刷中
東海林幹夫	パーキンソン病	水島 豊、菅世智子	市民のための老年病学	弘前大学出版会	弘前	2007	38-40
瓦林 毅、東海林幹夫	生物学的マーカー	朝田孝志	軽度認知障害 [MCI]	中外医学社	東京	2007	47-59

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
瓦林 毅、 東海林幹夫	アルツハイマー病	阿部康二	神経難病のすべて～症状・診断から最先端治療、福祉の実際まで	新興医学	東京	2007	34-43
瓦林 毅、 東海林幹夫	Alzheimer 病のバイオマーカー	岩坪 威	別冊 医学のあゆみ	医歯薬出版株式会社	東京	2007	71-76
河野道生	多発性骨髄腫	大田 健、 奈良信雄	今日の診断基準	南江堂	東京	2007	466-469
Berk JL, Bisbee AB, Kelly JW, Dyck PJ, Falk RH, Ando Y, Coelho T, Ikeda S, Merlini G, Suhr OB, Skinner M, the Diflunisal Investigators Consortium	Clinical trial for TTR amyloidosis using diflunisal.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	387-389
Himeno S, Ueda M, Nakamura M, Yamashita T, Obayashi K, Sun X, Misumi Y, Shinriki S, Ueda A, Uji Y, Saito S, Kim J, Meng W, Ando Y	Urinary transthyretin: A possible biochemical marker in the early stage of renal dysfunction	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	146-148
Kakizoe N, Ando Y, Kawaji T, Ando E, Sandgren O, Suhr OB, Tanihara H	Unique phenotype of vitreous amyloidosis in different endemic areas.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	149-151

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Kim J, Motomiya Y, Nakamura M, Ueda M, Saito S, Misumi Y, Himeno S, Obayashi K, Shinriki S, Meng W, Semba U, Kai H, Ando Y	Role of the c-terminal amino acids in β 2-microglobulin amyloid formation.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	16-18
Misumi Y, Ando Y, Nakamura M, Yamashita T, Himeno S, Ueda M, Obayashi K, Sun X, Saito S, Kim J, Shinriki S, Meng W, Ueda A, Uchino M	An autopsy case of familial amyloidotic polyneuropathy ATTR Val30Met 10years after liver transplantation: changes in the amount of amyloid deposits in the pancreas.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	169-171
Obayashi K, Yamashita T, Ueda M, Nakamura M, Asonuma K, Inomata Y, Uchino M, Tanaka K, Ando Y	Amyloid neuropathy in a Japanese domino liver-transplanted recipient.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	172-174
Okamoto S, Yamashita T, Ando Y, Nakamura M, Ueda M, Uchino M	Cardiomyopathy in FAP Val30Met patients with and without liver transplantation.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	180-181

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Saito S, Ando Y, Ueda M, Kim J, Nakamura M, Yamashita T, Obayashi K, Misumi Y, Shinriki S, Himeno S, Meng W, Ishima Y, Akaike T, Otagiri M	Effect of nitric oxide in transthyetin-related amyloidosis.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	185-187
Sato T, Susuki S, Miyata M, Ando Y, Shuto T, Suico MA, Kai H	Inhibition of intracellular tetramerization induces the proteasomal degradation of amyloidogenic transthyretin variants.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	188-190
Shinriki S, Ueda M, Yamashita T, Obayashi K, Sun X, Himeno S, Ueda A, Misumi Y, Saito S, Kim J, Meng W, Shinohara M, Ando Y	Amyloid deposition in the tongue of patients with familial amyloidotic polyneuropathy.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	196-198
Ueda A, Ueda M, Yamashita T, Hirano T, Nakamura M, Misumi Y, Meng W, Ito T, Uchino M, Ando Y	Proliferation of smooth muscle cells in the tunica intima of cerebral vessels in familial amyloidotic polyneuropathy ATTR Y114C.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	202-204

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Ueda M, Ando Y, Nakamura M, Yamashita T, Obayashi K, Misumi Y, Shinriki S, Ueda A, Zeledon R ME, Himeno S, Saito S, Kim J, Meng W, Uchino M	FK506 inhibits murine AA amyloidosis without modulating serum SAA levels.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	99-101
Yamashita T, Ando Y, Ueda M, Nakamura M, Okamoto S, Hirahara T, Ueda A, Misumi Y, Obayashi K, Uchino M	Effects of liver transplantation on hereditary cerebral amyloid angiopathy associated with ATTR Y114C.	Skinner M, Berk J, Connors L, Seldin D	XIth International Symposium on Amyloidosis	CRC Press	New York	2007	211-213
Ando Y	Liver Transplantation and New Therapeutic Approaches for Familial Amyloidotic Polyneuropathy (FAP)	Meng LL	Proceedings of XXIV World Congress of Pathology and Laboratory Medicine	ISI	Philadelphia, USA	2007	1-4
安東由喜雄、 三隅洋平	家族性アミロイドポリニューロパチー(FAP)の免疫治療法	柳沢信夫他	Annual Review 神経			2007	221-226
安東由喜雄	血液生化学検査 5.血清タンパク質	入江徹美	知っておきたい臨床検査値	東京化学同人		2008	80-81
山下太郎、 安東由喜雄、 内野 誠	家族性アミロイドポリニューロパチーに肝移植は有効か	岡本幸市他	EBM 神経疾患の治療			2007	365-370
安東由喜雄、 大林光念	自律神経活動と効果臓器の反応性	日本自律神経学会	自律神経機能検査第4版			2007	70-73

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
安東由喜雄	マスペクトロメトリーを用いた遺伝性アミロイドーシスの病態解析	丹羽利充	細胞工学別冊	秀潤社		2007	80-88
大林光念、安東由喜雄	赤外光学的検査	日本自律神経学会	自律神経機能検査第4版			2007	417-421
安東由喜雄	末梢神経疾患—アミロイドポリニューロパチー	平井俊策・坂東武彦	最新自律神経学	新興医学出版社		2007	271-276
安東由喜雄	老人性全身性アミロイドーシス		医学大辞典	医学書院	東京		in press
米川忠人、中里雅光	内分泌臓器とアミロイドーシス	石原得博、池田修一	アミロイドーシスの基礎と臨床	金原出版	東京	2005	247-252
工藤幸司、古本祥三、岡村信行	アミロイドイメージングによるアルツハイマー病の診断	小川誠司、上野照剛	非侵襲・可視化技術ハンドブック	NTS社	東京、	2007	562-566
古本祥三、岡村信行、工藤幸司	アミロイドイメージングによるアルツハイマー病の早期診断	伊藤正敏	臨床医のためのクリニカルPET—病期・病態診断のためのガイドブック	先端医療技術研究所	東京	2007	205-210
水澤英洋	プリオン病	石原得博、池田修一	アミロイドーシスの基礎と臨床	金原出版	東京	2005	277-286
寺井千尋	アミロイドーシス	水島 裕、高久文麿	今日の処方	南江堂	東京	2007	355-358
小関由美	アミロイドーシス	鎌谷直之	EBMを活かす膠原病・リウマチ診療	MEDICAL VIEW	東京	2007	400-408

[V] 班構成員名簿

平成19年度アミロイドーシスに関する調査研究班名簿

区 分	氏 名	所 属	役職名
主任研究者	山田 正仁	金沢大学大学院医学系研究科 脳医学専攻 脳病態医学講座 脳老化・神経病態学（神経内科学）	教 授
分担研究者	下条 文武	新潟大学大学院医歯学総合研究科 内部環境医学講座	教 授
	池田 修一	信州大学医学部内科学 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	教 授
	樋口 京一	信州大学医学研究科 加齢生物学分野	教 授
	玉岡 晃	筑波大学人間総合科学研究科 病態制御医学専攻	教 授
	高市 憲明	虎の門病院 腎センター 内科	部 長
	山田 俊幸	自治医科大学 臨床検査医学	准教授
	前田秀一郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部生化学講座第一教室	教 授
	内木 宏延	福井大学医学部医学科 病因病態医学講座分子病理学領域	教 授
	今井 裕一	愛知医科大学医学部内科学講座 腎臓・膠原病内科	教 授
	葛原 茂樹	国立精神・神経センター武蔵病院	病院長
	島崎 千尋	京都府立医科大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科	講 師
	吉崎 和幸	大阪大学保健センター	教 授
	東海林幹夫	弘前大学大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設 脳神経内科学講座	教 授
	麻奥 英毅	広島赤十字・原爆病院 検査部	部 長
	石原 得博	山口大学大学院医学系研究科 情報解析医学系学域病理形態分野	教 授
	河野 道生	山口大学大学院医学系研究科 細胞シグナル解析学分野	教 授
	奥田 恭章	道後温泉病院リウマチセンター 内科	部 長
安東由喜雄	熊本大学大学院医学薬学研究部 病態情報解析学	教 授	
中里 雅光	宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野	教 授	

区 分	氏 名	所 属	役職名
分担研究者	工藤 幸司	東北大学 先進医工学研究機構 高度情報通信分野	教 授
	水澤 英洋	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 脳神経病態学 神経内科学	教 授
研究協力者	石田 禎夫	札幌医科大学 第一内科	講 師
	澤村 守夫	独立行政法人国立病院機構西群馬病院 血液内科	医 長
	鈴木 憲史	日本赤十字社医療センター 血液内科	部 長
	松田 正之	信州大学医学部内科学 脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	准教授
	中尾 眞二	金沢大学大学院医学系研究科 細胞移植学	教 授
	安倍 正博	徳島大学大学院 生体情報内科学	准教授
	原田 直樹	九州大学病院 血液・腫瘍内科	助 教
	畑 裕之	熊本大学医学部附属病院 血液内科	講 師
	村上 博和	群馬大学医学部保健学科	教 授
	田村 裕昭	勤医協中央病院	副院長
	寺井 千尋	東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター	准教授
	稲田 進一	東京都立大塚病院 リウマチ膠原病科	副院長
	簗田 清次	自治医科大学 内科学講座 アレルギー膠原病学部門	教 授
	田中 敏郎	大阪大学医学部 呼吸器・免疫アレルギー内科	准教授
	佐伯 修	大阪府立大学 総合リハビリテーション学部 総合リハビ リテーション学科	教 授
	公文 義雄	高知大学医学部医学科 病態情報診断学	准教授
中村 正	熊本リウマチセンター・熊本整形外科病院 リウマチ膠原 病内科	部 長	